

## 第三十一回大会

### 総会報告事項と決定事項

研究大会第一日目の自由報告終了後、総会が開かれ、服部治則会員の議長のもとで、以下のごとくの内容について審議された。

#### 一、事務局報告

##### (1) 一九八三年度事業報告

運営委員会、宿題委員会、研究会および「研究通信」発行等について別記(A)のごとく報告され、了承された。なお会員研究動向のアンケートを実施し結果を「研究通信」第131号で報告したこと、五月七日に特別研究会が開催されたこと、新「村落社会研究会員名簿」が発行されたことなどがとくに付言された。

##### (2) 共通課題について

本年度の共通課題「農政と村落」については初年度でもあることから問題の所在を明確にするところに研究の焦点を置き、会員外の講師による研究会を開催した。

来年度も継続して同課題について研究を深める提案が承認された。

##### (3) 会員動向について

会員数は一九八三年十月十日現在で、三四九名である。この期間の会員移動は、新入会員十八名、退会々員六名、死亡二名

#### 二、会計報告

(井森陸平、喜多野精一氏)である。

一九八三年度会計決算は、左記の別表の通りである。なお会費収入については、会員振込先と事務局会計との連絡に未確認のところがあり、次年度繰越金が若干増額になる見込みであることが了承された。

#### 村落社会研究会 1983年度会計決算報告

収入の部		1983年10月11日現在		
項目	83年度予算	83年度決算	備考	
前年度繰越金	140,905円	140,905円		
会費収入	1,200,000円	1,125,726		
利息	2,500	5,768		
雑収入	4,000	0		
合計	1,347,405	1,272,399		

支出の部		1983年10月11日現在		
項目	83年度予算	83年度決算	備考	
「研究通信」印刷費	450,000円	522,500円	4回発行分	
名簿印刷費	130,000	121,800		
郵送料	250,000	269,970		
連絡通信費	60,000	47,280		
会議費(会場費・交通費)	150,000	119,170		
文具・消耗品費	50,000	33,340		
講師謝金	30,000	50,000	研究会講師	
事務謝金	60,000	73,000	録音記録起し等	
雑支出	4,000	11,800		
予備費・次年度繰越金	163,405	23,539		
合計	1347,405	1,272,399		

### 三、会計監査報告

前年度事務局を担当された吉沢四郎会員から、前記報告の会計決算が適正である旨会計監査結果の報告があった。

### 四、一九八四年度予算について

来年度予算については、次期事務局と本年度事務局とで予算案を作成し、運営委員会で審議決定することが了承された。

### 五、編集委員会報告

- (1) 「研究年報」第十九集が刊行された。
- (2) 第二〇集の自由投稿希望者は、研究通信での公募にもとづき早急に申し込むこと。

### 六、一九八四年度事務局について

千葉大学・中野 卓会員、皆川勇一会員にお引き受けいただくことになった。

新事務局の住所は次の通り。

〒二六〇 千葉市弥生町一の三三

千葉大学教育学部社会学研究室

村落社会学研究会

(電話) 〇四七二一五一―二二一 内線二四五三

### 七、第三十二回大会開催地について

第三十二回大会の開催については、神戸大学・北原 淳会員、

岩崎信彦会員にお願いすることになった。開催日程および場所については、運営委員会と協議のうえ決定されることになった。